



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第20号



平成30年9月7日



2学期が始まりました



学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。この夏は猛暑日が多く、体調管理が大変だったと思います。屋内で過ごすことが多かったのでしょうか、子どもたちもあまり日焼けをしていないように見受けられました。残暑厳しい中で、大丈夫かなと思いましたが、登校すると、早速、運動場で遊ぶ姿がありました。

新学期早々、大きな台風が襲来しました。2学期も、いろいろな行事が計画されています。日々の学習を充実させながら、安全第一で進めていきたいと思えます。1学期に引き続き、ご支援、ご協力をお願い致します。

避難訓練(休み時間)



9月6日、北海道で震度7の地震が起こりました。午前3時8分頃の発生ということで、自然災害はいつ起こるか分からないということを改めて思い知らされました。学校でも、この日、休み時間中の地震発生という想定で、子どもたちへの予告無しで避難訓練を行いました。

昼の休憩時間で、ほとんどの子どもたちは校庭で遊んでいました。緊急地震速報の放送が流れると、校庭で遊んでいた子どもたちは、一斉に中央に向かって走って集まり、シェイクアウトの姿勢を取りました。校舎内にいた子どもたちも、安全と判断した場所でシェイクアウトの姿勢を取りました。どの子も、静かに揺れが収まるのを待つことができ感心しました。今回は、放送機器が使えないという想定でしたので、避難の指示は、全て教師による肉声で行いましたが、子どもたちが静かにしていたので、指示もよく聞こえ、速やかに避難場所に集まることができました。

災害が発生したとき、必ずしも近くに大人がいるとは限りません。子どもたちが、冷静に状況を判断し、自分の命を守ることができるようにしていきたいと思えます。



緊急地震速報が流れた直後、校庭の真ん中に集まり、シェイクアウトの姿勢を取りました。



校舎内にいた子どもたちは、避難経路の安全が確認されたので、校庭へ避難しました。



高学年は、津波による避難に備えて、救命胴衣を運びました。